

皆さんは将来、機械工学のエンジニア、研究者として、社会に貢献して行くことを主たる目的として、機械工学コースに在籍していることと思います。エンジニアや研究者としての社会貢献の方法はさまざまですが、エンジニア、研究者としてのキャリアを形成していく過程を皆さん自身が把握、あるいは設計してゆくことはとても重要なことです。これまでの皆さんの実績を振り返りながら、現在の自分を見つめ、今後どのような方向へ進んでゆくと良いか、あるいは進んでゆくとしているのかといったことを1年に一度、レポートしてまとめると良いと考えます。

皆さんには、機械工学のエンジニアとして、どのような分野あるいは技術に興味を持ち、その分野あるいは技術で社会に貢献したいとか、または研究者になって、新しい技術を生み出したいなど、さまざまな夢を持ってもらいたと思います。そして、この夢を現実近くに近づけるために日々努力をして欲しいと思う次第です。

もちろん、学年によって、あるいは個人によって、その方向性や具体性、あるいは熱意は異なることと思いますから、画一的な回答を求めているわけではありません。皆さんが自身のために将来を見据え、地に足をつけた日頃の勉強やさまざまな事柄への興味を積極的に持ってもらいたいと願っています。場合によっては、過去の勉強不足を反省して、進もうとする方向を修正することにもこのレポートは役立つものと考えます。

上記を理解のうえ、下記の項目に分けてレポートを作成してください。皆さんから提出されたレポートに関しては、担当が目を通し、皆さんと一緒に考え、サポートをする予定です。

【課題 1】 将来、どのようなエンジニアになりたいか、現在、考えている事柄を述べてください。

【課題 2】 上記課題 1 の目的を達成するために、大学入学後どのようなことをしたか、述べてください。

【課題 3】 上記課題 1 の目的を達成するために、現時点までにやっておくべきであったにもかかわらず、できなかった事柄を述べてください。

【課題 4】 上記課題 3 の事柄が達成できなかった理由を述べてください。ここで、達成できなかった理由を自分以外の他に転嫁してはいけません。自分自身で、何が足りなかったのか、述べてください。

【課題 5】 上記課題 1 の目的を達成するために、今後 1 年間どのような事柄を行う予定であるのか、述べてください。

提出方法： 以下の(1)～(3)にしたがって提出してください。

- (1) 1 年生担任の田中教授(gtanaka@faculty.chiba-u.jp)と太田准教授(ota@faculty.chiba-u.jp)の双方に、第 2 ターム終了後、10 月 4 日までに、電子メールの添付ファイルの形で提出してください。
- (2) 添付ファイルは Microsoft wordとしてください。A4 用紙に上下左右の余白を 20mm ずつ設定してください。
- (3) 分量は A4 用紙 2 枚以上とし、最初は、「キャリア形成レポート:1 年生」と題記してください。次に、提出年月日、学生証番号、氏名を記入してください。次に、後になってから自分で読むときに、何について記述したのかわかるようにするために、上記課題の文言を書いた後で、自分の考えを述べなさい。